

# 夢の「たね」



パリオリンピック レスリング

7/2夢のたね講演会より

金メダリスト 元木 咲良 さん

～ 何度でも立ち上がる～

7月2日、夢のたね講演会を催しました。パリオリンピックレスリング金メダリストの元木咲良さんに、お話をいただきました。オリンピック選手ともなると、運動神経抜群で、どんなスポーツも上手にできるスーパーマン的なイメージを持つ方が多いはずですが、元木選手は「運動が苦手（ゴルフで何回も空振りをしている動画を見せてくれました）」とっていました。しかも、自分のことを「とってもネガティブ」「自信がない」「泣き虫」「不器用」と分析しています。自分に才能がないと感じた元木選手は、一生懸命に練習することに加え、2つの方法で金メダルまでたどり着きました。1つ目は必殺技「ローシングル」を極めたこと。この技をかけるための方法を30持っているそうです。2つ目はレスリングノートを書き続けたこと。レスリングにかかわるすべてのことを中学生から書き続け、今では50冊になったそうです。

ただ、金メダルまでの道のりは順調とは程遠いものだったようです。3つの試練「頑張っても勝てない」「肩と右ひざを手術」「ライバルと不安との戦い」があったが、努力と強い気持ち、家族の協力などにより、試練を乗り越え、金メダルの獲得までたどり着いたそうです。



講演会の最後に、元木選手から芝根小の児童みんなにメッセージを残してくれました。

①頑張ったことは必ず自分の力になる ②夢や目標にチャレンジしてほしい ③どんな時でも感謝を忘れない  
さらに、何度も挫折や試練を味わった元木選手だからこそ、伝えられること

**「だれでも戦える！夢は必ずかなえられる！」**

元木選手は、とっても謙虚で、誰にでも親切に接してくれました。夢のたね講演会の後は6年生と一緒に給食を食べたり、気軽にサインに応じてくれたりしました。レスリングが強くて世界一。さらに、人間性までもがとっても素晴らしく、世界一だと感激しました。子供たちはたくさんの「夢のたね」を見つけられました。

